

Akina と過ごした一週間

K.H

宝くじでも買うような気分でホストファミリーに応募した。後日、留学生のプロフィールを渡されてびっくり。Akina Nishikawa とはどう見ても日本語の名前で日本人なの！？と分からないことが一気に増えた。何度かメールでやりとりして行きたい所や食べたい物を聞いたり、お土産を買いに行ったりしている間にあっという間に引き継ぎの日が来た。

実感の湧かないまま車で阿武野のホストファミリーとの集合場所に向った。初めて会った印象は「思っていたよりずっと大人しい子」という感じ。アメリカ人というとなんとなく会ってすぐに物凄いハイテンションでハグしてきたりするんだらうかと身構えていたので拍子抜けした。Akina は英語や少し日本語で色々と話しかけてくれたけど、いざ会うと頭が真っ白になってしまって、何を話せばいいか分からない、どうやって英語で言えばいいのか浮かんでこない！とすぐに会話が止まってしまう。例年と違って今年は一人だけの受け入れで、引率の先生がいたと言っても、たった一人で日本に来た Akina は最初緊張していて、すごく遠慮がちだった。翌日から早速学校が始まった。先生にお願いして授業の最初に少し自己紹介。とても綺麗な日本語で、たくさん練習してきたんだらうと思った。頼みの綱だったクラスメイトは正直言ってほとんど役に立たない（笑）「もっと話しかけて来なよ！」と言うと、「何を話しかけていいか分からない！」と言われ、皆も自分と同じなんだと気づき少し気持ちが軽くなった。授業は退屈そうにしているのかほとんど分からないと言っていたけど英語の時間は発音の手本をしてくれたりしてにこにこしていた。

放課後はなるべく色々な所を見せてあげたくて、部活に連れて行ったり、スーパーのバックヤードを見せてもらったり、土曜日には大阪城に行ったりもしたが、一番印象に残っているのは初登校日の放課後。阿武野では京都や清水寺など歴史的な場所に行ったようだからこっちでは普段学生が行くような所を、とクラスメイトと梅田に繰り出した。男子三人と女子二人が来てくれて、プリクラや Akina が行きたいと言っていたポケモンセンター、日本のアニメが好きだと言っていたのでアニメイトに行った。漫画が商品棚にぎっしり詰まっている様子が珍しいのか、しきりに写真を撮ったり、ポケモンセンターでは大量にグッズを買い込んでいて、皆でお金を出し合ってぬいぐるみをプレゼントしたらとても喜んでくれた。プリクラのようなものはアメリカにもあると言っていたが日本のプリクラとは違うようで、タッチペンで落書きするのをとても珍しがっていた。残り時間のカウントダウンが始まると「まだ全部描けてない！」と大慌てしていた。大勢でぎゅうぎゅう詰め撮ったのが一番楽しかったと言ってくれて嬉しかった。

夜はくら寿司にいった。前日の夕食にマグロの刺身を出したときあまり食べていなかったのが心配したが、たこや河童巻きを中心に七皿も食べた。男子が大量に積み上げた皿や、レーンの奥に見える寿司を作っている店員さんを撮って楽しそうだった。びっくらポンを見せたくてくら寿司に行ったけどその店には無かったのが少し心残り。皆ともすっかり打ち解けて「将来の夢は？」「好きな色は？」と日本語

で話しかけていた。

日本語で話す Akina と、それに一生懸命英語で答えようとする私達はなんだか可笑しかったけど、それを見て私は今まで英語を完璧に話そうと身構えすぎていたと気付いた。私達の危うい英語でも Akina はちゃんと聞いて理解しようとしてくれるし、私達に伝えようと一生懸命日本語で話しかけてくれる。恐れずに、もっと気楽に英語を使っていんだと勇気を貰った。

学校で過ごせる最後の日には HR でバレーとバスケットをした。文化祭で作ったクラス T シャツをお揃いで着て、最後には皆で写真を撮った。昼休みにはたくさんのクラスメイトが記念にツーショットを撮ろうと話しかけてきて、名残惜しそうにしていた。Akina は話した人や見たもの、食べたものなど、新しく覚えた日本語をアメリカに持って帰ろうとスマホにメモしていた。

Akina は宗教上の理由で豚肉が食べられないとあって食べ物には結構気を使った。それでも色んなものを食べてほしくて家で串カツや焼き鳥をした。日本ではあまりそのような宗教的な習慣に触れる機会はなかったのとても新鮮だった。

金曜日の夜には友達が泊まりに来て、ホットプレートでお好み焼きと焼きそばを作った。Akina はゲーム類にめっぽう強く、一緒に遊んだトランプや UNO では連勝だった。小さな縁日セットでしたヨーヨー釣りやスーパーボール投げも日本人の私達よりずっと上手くてすごく負けた気分（笑）初日の緊張からは考えられないほどよく笑うようになって、もう家族の一員みたいだった。

来る前は長すぎると思っていた一週間は楽しくて、一瞬で過ぎてしまった。せめてもう一週間欲しかった（笑）朝から晩まで英語漬けで過ごしていると Akina が帰国した後も、駅でぶつかった人に sorry と言いそうになったり、職員室に Excuse me と言って入りそうになったりと脳が自然に英語で考えるようになっていて驚いた。英語を話せるようになるには英語を使わなければならない状況に身を置くのが一番なんだろうと思い知った。

私がこの一週間を「楽しかった」と言えるのは多くの人の協力があってからだと思う。私のホスト受け入れを後押しし、ホストファミリーとして一緒に頑張ってくれた家族。にぎやかにクラスメイトの一員として過ごしてくれた9組の皆。サポートして下さった先生方。部活の仲間。本当に有難うございました。

Akina を通してアメリカのことをたくさん聞いて、意識したことなかった日本の不思議も多く発見した。Akina と過ごした七日間は大変だったけど、これまでで最高の夏だったと思う。

ホストファミリーを経験して

(保護者)

「ケント生のホストファミリー、当たった！」と聞いた時、「えっ？嘘やろ？どうしよう、掃除しなアカン！」と、まず最初に思いました。まさか本当に当たるとは思わず、チャンスがあるならとりあえず応募してみたら？と気軽に勧めたのに……。私は 20 人位応募者があるのかな、娘は 100 人位かなと思っていましたが、今年は 1 人しか来ないのであきらめた人が多かったのか、4 人の中から抽選で見事当たりを引いてきたのでした。1 人しか来ないということは、我が家が北野高校生の家庭のイメージを決めるのかと少しプレッシャーでしたが、当たったからには私達も楽しく、来てくれる子にも喜んでもらえるように準備しようと思いました。

プロフィールを見ると Nishikawa Akina とあり、え？日本人？ととまどいました。娘も下手なりに英語で会話したいと思っていたので、日本語ペラペラの子が来るのかなとテンションが下がったようでした。第 2 中間テスト前、しかもつたない英語（10 行ほどの英文に 1 時間半位かかっていた！テスト勉強が〜とハラハラ）での数回のメールのやりとりでは結局どのくらい話せるか分からなかった上、向こうは娘は英語が出来ると思ったみたいで、娘は喋られへんのになとあせっていました。

それよりも気になるのは「I cannot eat any pork」でした。宗教上の理由なら大変だと思い聞くと、ユダヤ教の食事制限をしていると分かり色々調べました。肉だけではなく、ポークエキス、豚由来のゼラチンなどもダメ、牛肉と乳製品は同時に食べてはいけない、調理器具やお皿も分けないといけないなどもありましたが、海外に来るくらいだし、豚が食べられないこと以外は書いてなかったので、あまり厳しい制限はしていないだろうと都合よく解釈することにしました。それからはスーパーで成分表示を見るようになり、加工食品の多くにポークエキスが入っているのにびっくりしました。カレーもラーメンもダメ、ソースやドレッシングも選ばないといけません。結局数社のメーカーのお客様センターに電話して S&B の赤缶カレーフレークが豚不使用と分かり用意しました。チキンラーメンも豚不使用でした。分子レベルまでは保証できないと言われましたが、そこは割り切ることにしました。外食は何が入っているか分からないのであきらめ、食事は手作りすることにしました。でも豚肉と市販のたれさえ使わなければ、そうした食事制限もあまり気になりませんでしたし、典型的な日本人家庭の我が家にとっては、宗教上食べられないものがあるということも新鮮でした。とはいえ Akina の帰国後真っ先に豚肉を食べましたが。

先に阿武野高校でのホストファミリーと 1 週間過ごしてから来る予定だったので、そのお宅と連絡をとらせていただき、色々教えていただきました。本人のリクエストがあった食事の半分以上はすでに食べていました。なるべく食事も出掛ける先もかぶらないようにしてあげたかったので、その点が 2 週目はつらいところでした。阿武野のファミリーはほぼ日本語の単語とジェスチャーで過ごしたようで、娘はがんばって英語で喋る！と言っていました。

実際に来てからはあっという間でした。Akina は日本語を習って 1 年目にしては上手という感じで、会話は英語。「はい」「いいえ」「大丈夫」と返事を日本語でする程度でした。娘はまだクラスの子の名前を半分も覚えていない状態でしたが、LINE という便利ツールを駆使して大勢と一緒に梅田に出掛ける約束を取り付け、またクラスの子に誘ってもらって Akina が喜びそうな店に出掛けました。Akina が来て初めての授業では先生に頼んで自己紹介の時間をもらったり、上級生の教室に Akina を連れて行って次

の授業を受けることをお願いしたり、普段ではありえないようなことをしました。英語に関しても、最初は「何を話していいかわからない」と言い、いちいち私に「こう言いたいけど、これで合ってる？」と確認していましたが、日に日に間違っているでもいいから（Akina も直してくれるので）どんどん話そうという意欲が見られました。伝わらない単語などは、これまた便利なスマホで調べて、画面を見せて理解してもらっていました。たった 1 週間ですが大きく成長したと思います。Akina も日本語などたくさん覚えて帰ろうと、とても熱心に娘に色々聞いて iPad にメモしていました。

Akina はとても大人しく、最初楽しいのかどうか分かりませんでしたが、3 日目にもなると口数も増え、遠慮せずたくさん食べ、リビングでくつろいで一緒にテレビを観たり UNO をしたり笑顔もたくさん見られるようになりました。1 週間はとても短く、やっと慣れ親しんだところで帰国となり、とても名残惜しかったです。2 週間丸々滞在して欲しかったです。

今回付き添いの先生はいますが、たった 1 人で来て、他に話す子もいないので心細かったと思います。それをものともせず来日し、とても勇気があると思いました。娘も海外に行ってみたいという夢がありますが、1 人だったら行くでしょうか。でも今回のことで、ほんの少しの勇気で、自分次第で、素晴らしい経験を得られることを学んだと思います。いつかその夢を実現してほしいと願います。

入学して数か月、まだ高校にも慣れきっていない中、このような機会を与えてくださり本当に学校には感謝しています。楽しい 1 週間を有難うございました。

第 4 章 交流を終えて

(the impressions of the international Exchange Program in July, 2014)

The questions they are requested to answer are as follows:

- (1) Did your Kitano family accommodate all of your needs?
- (2) Would you prefer to stay with one family for your entire visit or not?
- (3) Though it was a short stay, what did you enjoy most with your Kitano host family?
- (4) What did you think of Kitano? What did you enjoy or what was difficult to do at Kitano?
- (5) Do you have any suggestions that could help to improve our exchange program?

Chinn Ryan (Chaperon from Kentwood High School: the person on the right)

1. Absolutely. All Kitano teachers were very kind and added a great value to my experience here in Osaka
2. I stayed in a few hotels which was fine. If I had to choose, I would prefer one hotel. But this was not a problem.
3. I very much enjoyed the dinners with the Kitano teachers. They were all very nice and since I know very little Japanese, they were very accommodating. It is also very nice to see exchange teachers who stayed with me in Seattle
4. Kitano is a beautiful school. The architecture is very nice, and the history is very interesting. It is interesting to compare Abuno and Kitano and get a good idea of the similarities and differences in the educational system between the United States and Japan. I did not find anything difficult other than perhaps dealing with the heat and humidity. But that is not your fault.
5. I do not want to complain about anything, as I had an amazing time, a great learning experience. The only suggestion maybe would be to plan the hotel stay earlier in the year so the exchange teacher would not have to move. I would have liked to have had an idea of the itinerary before I came to Japan. But as I said, it is not a big deal at all, but you want suggestions, that is all I would say (or possibly make the weather less hot and humid...just joking!). Otherwise, it was very well planned with the classes, teachers for dinner, and allowed for some free time for me to explore Osaka. I am very pleased and happy that I was able to come on this program.

The student from Kentlake High School

Akina Nishikawa

1. Yes, they accommodated to all of my needs and were really nice towards me.
2. No, I think seeing the different type of homes in Japan is a great idea. That way, students who come from abroad will experience a little bit more of Japan.
3. I enjoyed eating dinner with them, speaking with them and helping my host with her English.
4. I think Kitano is a good school for individuals who really want to study hard and go to an excellent college. However, it was difficult for me to only sit and watch during the classes since the teachers lectured so much. But I did love speaking to all of the students and new people I met during my stay. Thank you so much for being extremely friendly and making my stay that more enjoyable.
5. I understand that the students of Kitano are to study, study, study, but I think when the abroad students come over the classes should be a little bit more interactive and make the guests really participate in different activities such as playing games during class time because the time limit is very short. Make sure to have and add more fun.